

3

One day, Mr. Crab picked up a rice ball lying on the roadside.

When he got excited about it, Mr. Monkey walked by.

Mr. Monkey was holding a persimmon seed in his hand.

"Hi, Mr. Crab. Why don't we exchange your rice ball with my seed? You will have a lot of persimmons once the tree starts bearing fruit,"

Mr. Monkey said.

Mr. Crab answered,

"I see. Let's exchange them."

Then they decided to exchange Mr. Crab's rice ball with Mr. Monkey's persimmon seed.



5

As soon as Mr. Crab got home, he planted the seed in his garden.

Then he busily watered the seed every day.

Eventually, the seed sprouted and became a tree with a lot of delicious-looking persimmons.

"I will start eating them!"

Mr. Crab thought in his mind.



あるひ、いっぴきのかにが、みちにおちていた『おにぎり』をひろいました。

かにがよろこんでいると、そこに、さるがとおりかかりました。

さるはてに『かきのたね』をもっていました。

「やあ、かにくん。きみのもっている

おにぎりと、ぼくのもっている

かきのたねを、とりかえないかい？

おにぎりは、いちどたべたら

なくなってしまうけど、かきはみがなれば、

たくさんたべられるよ」

「わかった。とりかえよう」

こうして、かにとさるは、

かきのたねとおにぎりを、

とりかえることにしました。



かには いえに かえると、
さっそく かきの たねを にわに うめました。

かには それから まいにち、
せっせと みずを まきました。

やがて かきの たねは、めを だし、
きになって、おいしそうな かきの みが、
えだ いっぱいになりました。

「さあ、かきの みを たべるぞ！」

と、おもった かにでしたが・・

